

■「ウトロ漁港ペレケ地区供用開始記念式典」開催

網走開発建設部 築港課

平成 28 年 5 月 14 日(土)に斜里町のウトロ漁港において、ウトロ漁港ペレケ地区供用開始記念式典実行委員会(委員長：馬場斜里町長)の主催により、「ウトロ漁港ペレケ地区供用開始記念式典」が開催されました。

同漁港では、平成 10 年度から北海道開発局が人工地盤を含む新埠頭の整備を進め、また同漁港を利用するウトロ漁業協同組合が荷さばき所、貯氷施設を整備、斜里第一漁業協同組合が荷さばき所を整備し、それぞれ平成 28 年 3 月までに完成、同年 4 月より供用を開始する運びとなりました。

式典には、武部新衆議院議員(代理：秘書)、高橋北海道議会議員をはじめ、水産庁、開発局、斜里町、地元漁業協同組合の関係者ら約 150 人が出席しました。

式辞では、阿部副町長が「1 日千トンを超える水揚げを誇る日本を代表する漁港。周辺施設とも連携し漁港全体が安全に利用されることを期待する。」と述べました。また、祝辞では、高橋北海道議会議員が「ウトロ漁港が北海道をけん引する漁港として、この港をまだまだ大きく発展をさせていきたい。」と述べ、ウトロ漁港の益々の発展に期待を寄せました。高吉水産庁漁港漁場整備部長(代読：吉塚水産庁漁港漁場整備部整備課長)は、「今回供用を開始する水産関連施設どれもが水産日本の復活を目指すために重要なもの」とウトロ漁港の供用開始の重要性を述べました。

供用開始記念セレモニーでは、関係者によるテープカットに続き、大漁旗を掲げた漁船 2 隻が「トキシラズ」の初水揚げを行い、供用開始を祝いました。



供用を開始したペレケ地区の新埠頭



祝辞の様子



テープカットの様子



漁船初入港の様子

